


DLC-KC370E, DLC-CH-KC 火災感知器チェンジャー 取扱説明書

このたびは、ジェフコム製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上の注意

⚠ 危険	<ul style="list-style-type: none"> ● 高圧電線の近くでは使用しないでください。感電や重大な事故につながる危険があります。 	 感電
⚠ 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業前に周囲の安全を十分に確認してください。不意の落下物により、けがや物品の破損が発生する恐れがあります。 ● 作業員および周囲の人は、ヘルメット、保護メガネ、手袋を着用してください。不意の落下物によるけがの恐れがあります。 ● ポールを伸ばしたまま横倒しにしないでください。転倒や破損などの恐れがあります。 	
⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 本来の用途以外には使用しないでください。事故の恐れがあります。 ● 使用前に部品のゆらみや破損がないかを点検し、異常がある場合は使用しないでください。事故の原因になります。 ● 使用中はポールを確実に支えてください。転倒や破損の恐れがあります。 ● 気温が-10℃以下の環境では使用しないでください。樹脂部が破損する恐れがあります。 ● ポールを縮める際は、ポールをしっかり保持した状態でロックレバーを緩めてください。急激な落下による破損やけがの原因になります。 ● シンナーなどの溶剤をポールに付着させたり、溶剤のある環境で保管しないでください。溶剤による素材の劣化や破損の恐れがあります。 ● ポールの表面に油分やシリコンなどの潤滑成分が付着した場合は、薄めた中性洗剤で潤滑成分を拭き取ってください。ポール伸縮方向の保持力が低下し、落下する恐れがあります。 	

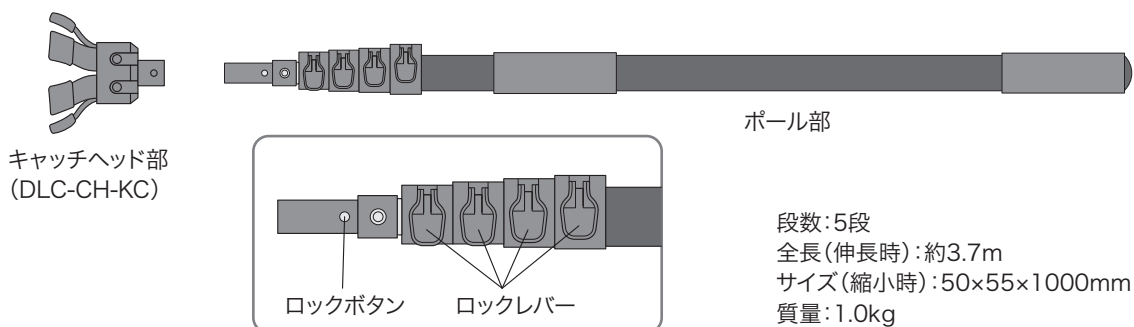
使用上のお願い

- 消防設備の定期点検業務は、法令が定める有資格者が行ってください。
- 火災感知器の取扱説明書も併せて読み、指示に従って正しく使用してください。
- 適合する寸法の火災感知器であっても、構造や状態によっては取り外しや取り付けができない場合があります。
- 火災感知器の脱着作業後に、火災感知器が正常に動作するか確認してください。

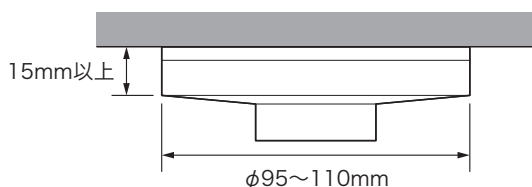
特長

- 脚立や踏み台を使わずに、ほとんどの火災感知器の交換ができる
- ポールの伸縮を、ロックレバーで確実に固定するイーザーロック方式

各部名称・仕様



適合火災感知器サイズ



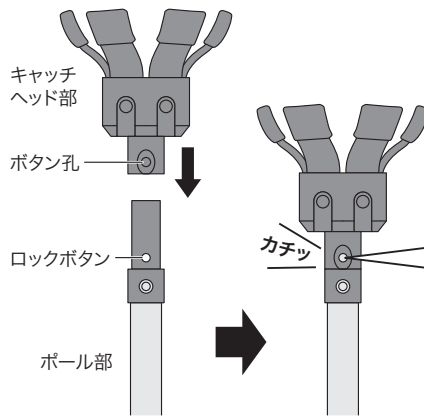
- 適合火災感知器サイズ: φ95~110mm(径)、高さ15mm以上
- 最大広がり巾: φ125~140mm

埋め込み型や薄型設計の火災感知器は適合しません。
 適合する寸法の火災感知器であっても、構造や状態によっては取り外しや取り付けができない場合があります。

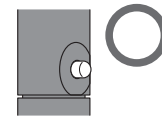
使用方法

キャッチヘッド部の取り付け、取り外し

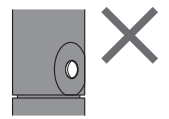
ポール先端のロックボタンを押して、ヘッドパーツのボタン孔の位置に合わせて挿入します。
カチッと音がし、ボタン孔からロックボタンが出て、ロックされます。
はずすときは、ロックボタンを先の細い棒などで押してロックを外し、ヘッドパーツを引き抜きます。



ロックボタンが出ている



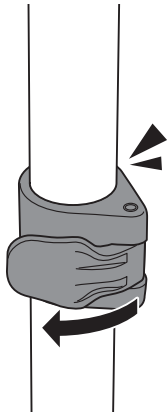
ロックボタンが出ていない



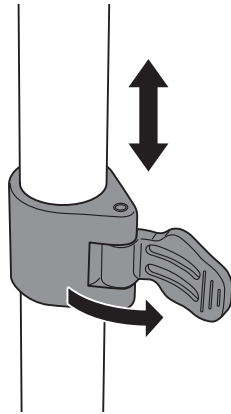
ロックボタンが出ていることを確認し、ヘッドパーツを引っ張ってもボールから抜けないことを確認してください。確実に取り付けられていないと、キャッチヘッド部が落下する恐れがあります。

ポールの伸縮とロック方法 (イージーロック)

ポールのロックレバーが閉じた状態だと、ポールの伸縮がロックされています。

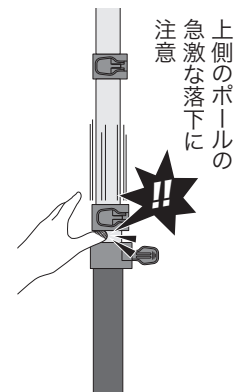
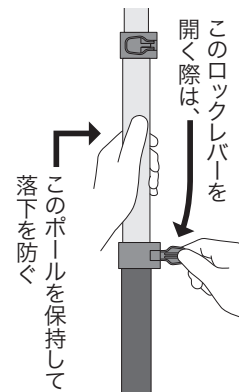


ポールのロックレバーが開いた状態だと、ポールのロックが解除され、伸縮できます。

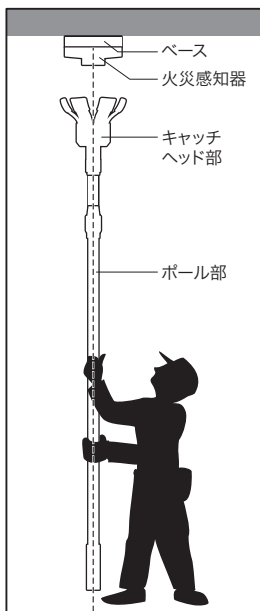


ポールを縮めるためにロックレバーを開く際は、縮めるポール(上側のポール)をしっかりと保持してください。上側のポールが急激に落下して、手を挟んだり、破損やけがの原因になります。

注意

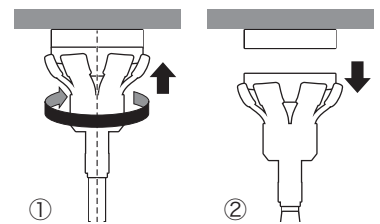


火災感知器の取り外し、取り付け



火災感知器の取り外し

- ①火災感知器とキャッチヘッドが同一軸上になるようにして、軽く押しながら火災感知器を外す方向(一般には左回転)へポールを回して、火災感知器はベースから外す。
 - ②ポールを立てた状態でポールを縮めて、キャッチヘッドから火災感知器を取り外す。
- ※ポールを斜めにしたり、倒したりしないでください。火災感知器が落下する原因になります。



新しい火災感知器の取り付け

- ①新しい火災感知器をキャッチヘッドの中央に水平になるように載せ、ポールを立てた状態で火災感知器のベースに届くようにポールを伸ばして、キャッチヘッド、火災感知器、ベースが同一軸上になるように近づける。
 - ②キャッチヘッドを軽く押しながらねじ込む。
- ※ポールを斜めにしたり、倒したりしないでください。火災感知器が落下する原因になります。

